



首都圏営業本部 コンサルティング営業室
Sキャリア・オフィス 勝倉 朋代

品質保証宣言

当社は、お客さまを何よりも大切にすることを追求していく決意として「品質保証宣言」を掲げています。

「品質」とは、長期にわたる保険契約のご契約時・ご契約期間中・お支払い時のどの段階においても、当社の商品・サービスについてお客さまに高いレベルの満足感を持って

いただくことを考えています。引き続き、お客さまの声を起点とした改善・強化に取り組み、「品質」を向上させていくことにより、お客さまから最も支持される生命保険会社を目指していきます。

第一生命 品質保証宣言

「お客さま第一主義」をさらに追求し、ご提供する商品・サービスの品質管理を徹底します。

お客さま一人ひとりの生涯と真剣に向き合い、人生のステージごとに最適な備え方のコンサルティングを行います。

商品・サービスの内容やご契約内容などについて、お知りになりたいこと、重要なことを分かりやすくご説明します。

「ご契約時」、「ご契約期間中」、「お支払い時」のどの段階においても、お客さまの立場に立ったお手続きや公平なお支払いを正確かつ速やかに行います。

社外の方々から幅広くご意見を伺うとともに、お客さまの声を真摯に受けとめて、日々の仕事や会社の経営に反映します。

長期間にわたり保障をご提供する使命を果たすため、財務基盤を維持、強化します。

いちばん、品質の高い

会社

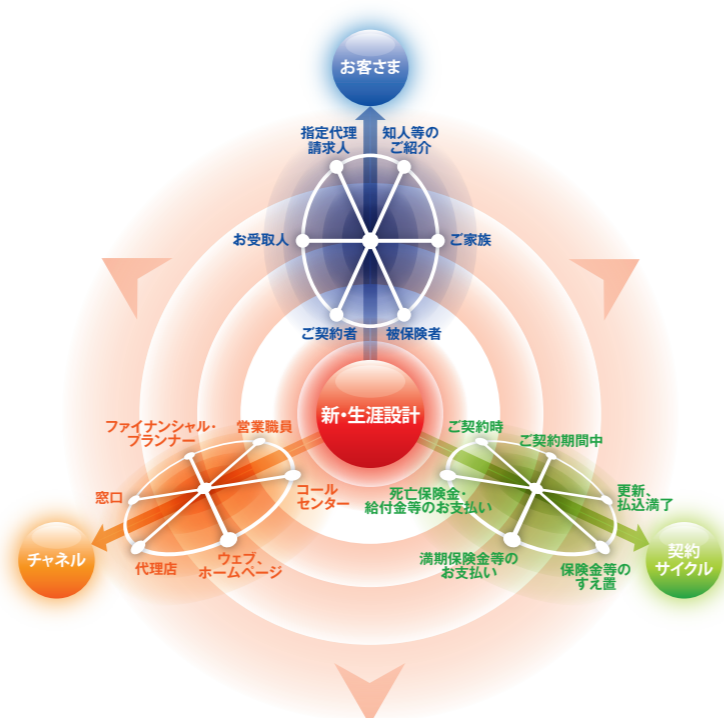
お客さまの視点に立ち、「一生涯のパートナー」として、ニーズに合った商品・サービスを分かりやすくご提案しています。また、良き企業市民として、環境保護・社会貢献に取り組み、社会・経済の発展と地球環境との調和に貢献していきます。

新・生涯設計

当社はお客さまから選ばれる会社であり続けるため、これまでの「生涯設計」のコンセプトをさらに拡大・進化させた「新・生涯設計」に取り組んでいます。

「新・生涯設計」では、ご契約者のみならず、そのご家族や知人も含め、「生活者」としてのお客さまとの接点を広げること、営業職員やコールセンター等の当社営業チャンネルや通知物等の媒体が連携してお客さまとの接点を進化させること、契約サイクルのさまざまな局面をとらえてお客さまとの接点を強化していくことを目指します。

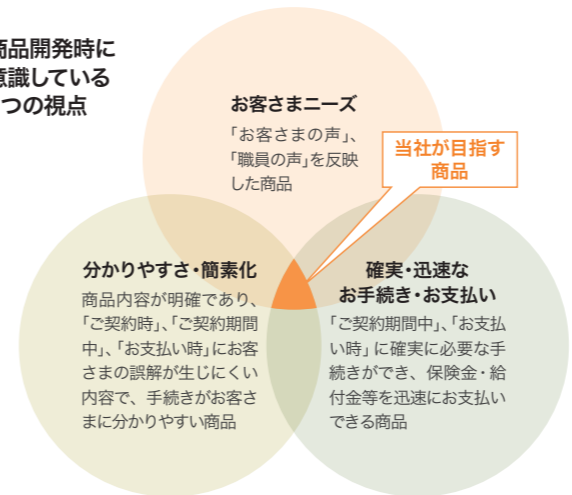
当社はこれからも「一生涯のパートナー」として、すべてのお客さまに、私たちすべてが、すべての接点で、お役に立ち、「安心の絆」をお届けできるよう、努力していきます。



「新・生涯設計」を支える商品開発

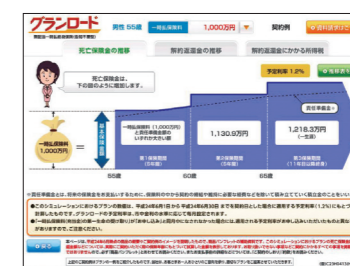
「ご契約時」、「ご契約期間中」、「お支払い時」のどの段階においても、お客さまに安心感・納得感を持っていただけるよう、下記の3つの視点を意識するとともに、PDCAサイクルの観点を重視しています。チェックリストによる品質確認に加え、経営層による委員会審議を経ることにより、商品の品質確保・品質向上を目指しています。このような観点から商品開発を行い、既存商品についても継続的な検証・見直しを行っています。

商品開発時に意識している3つの視点



2011年度は、8月から無配当一時払終身保険(告知不要型)「グランロード」の販売を開始しました。診査やお客さまの告知を不要とすることで、健康状態に不安を抱えることが多いシニア層も含めた幅広いお客さまにご加入いただける商品としました。また、若年層のお客さまに向けて、同年10月から「順風ライフ」における加入時の設計の自在性を向上させるとともに、これまで原則として医師の診査や健康診断書のご提出を必要としていた「保険料払込免除特約(H13)」について、一定の範囲で従来よりも簡便な告知書扱でのご加入が可能となりました。

このようにさまざまなニーズにお応えして、今後もお客さまに適切な商品をご提供していきます。



「グランロード」シミュレーション画面

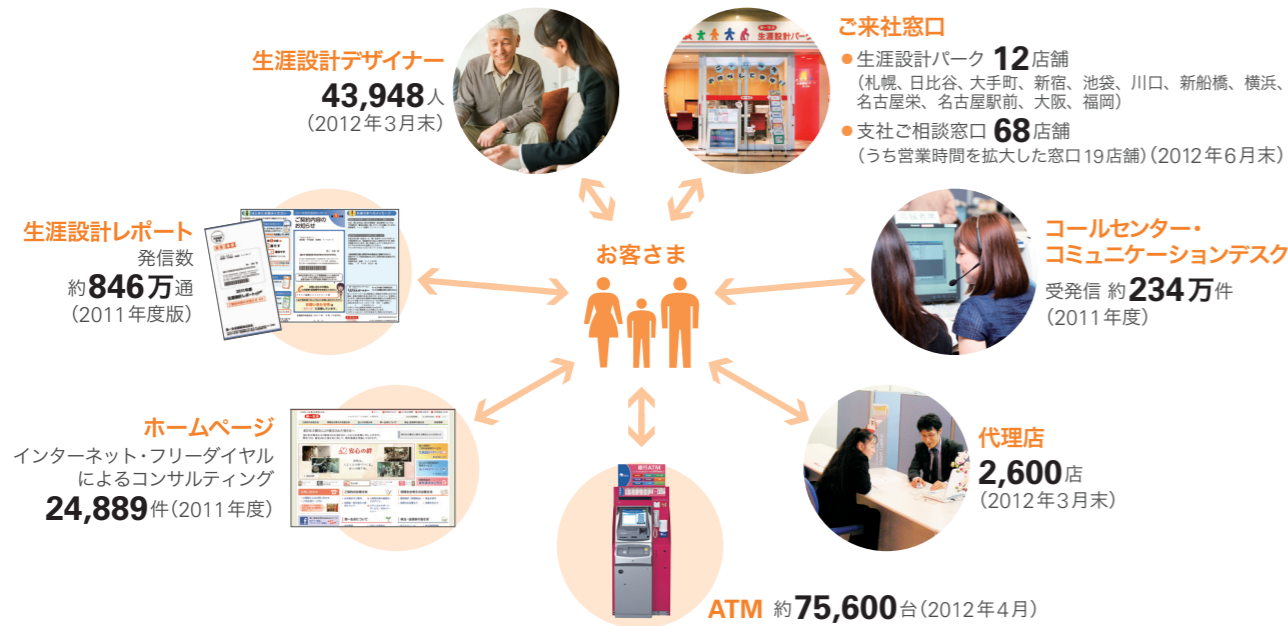
※上記は2012年7月時点の商品の概要を説明したものです。
(登)C24H0524(H24.7.27)③

「安心の絆」をお届けするさまざまな接点

当社では、お客さまへ「安心の絆」をお届けするために、「新・生涯設計」のコンセプトに基づき、さまざまな接点を設けて人生のステージごとに最適な備え方ができるよう、お客さま一人ひとりにとって理想の生涯設計を追求しています。

お客さまとの対面によるコンサルティング活動・サービスを行う生涯設計デザイナー（営業職員）を全国に配置す

るとともに、お客さまから契約内容の変更や保険金・給付金をはじめとした各種お手続き・お問い合わせを受け付けるコールセンターを札幌・東京・大阪の3カ所に開設しています。また、お客さまのご都合に合わせて利用できる生涯設計パークをはじめとしたご来社窓口も営業時間を拡大するなど、利便性の向上に努めています。



お客さまのことを考え、最適な提案を心掛けています

私は、お客さまの職場をメインの活動場所としています。訪問の際には、挨拶等の礼儀作法はもちろんのこと、お邪魔する時間やお仕事の状況を確認した上で、気持ち良く話を聞いていただけるよう意識しています。

そして、普段から携帯パソコンやタブレット等、さまざまなツールを活用してお客さまの情報を収集しています。しっかりと情報収集を行うことにより、ご家族全体の生活環境の変化を踏まえたご提案が可能になります。

以前、あるお客さまがご結婚されて職場を異動されました。新しい勤務先は、私の担当地域からかなり離れた場所です

が、新しいご家族を迎えたお客さまには、きっと必要な保障も変わってくるはずと思い、お伺いしました。するとその方から、「自分のために、こんなに遠い場所まで来てくれるなんて」と驚かれ、新しい環境を踏まえたご提案にとっても喜んでいただきました。

お客さまに喜んでいただくたびに、この仕事を続けてきて本当に良かったと感じます。これからもこの思いを忘れず、どのような保障であれば安心をお届けできるのかを考えながら、一人ひとりに最適なご提案を行い、多くの方のお役に立てるよう取り組んでまいります。

太田支社 太田第一営業オフィス 大東 幸子



お客さまの立場に立ったご提案・ご契約

「DL Pad」の投入による良質な提案と迅速・便利なお手続きの提供

2012年8月に、「新・生涯設計」を推進する重要なインフラとして、当社独自の最新鋭タブレット型モバイルパソコン「DL Pad」を導入しました。ご覧いただきやすい画面や高速通信機能、最先端のセキュリティ機能等を備え、分かりやすい情報提供やお客さまとの双方向コミュニケーションによるコンサルティングを推進することで、お客さま満足度の向上を図ってまいります。

この「DL Pad」では、健康・医療、社会保障制度、保険の仕組みからご加入後のサービス、確実に受取りいただくための制度や仕組み等、幅広い情報をイラストや動画、音声等で分かりやすくご説明する機能を搭載しています。また、保障内容をお客さまと一緒に「DL Pad」で設計し、詳しくご確認いただくことができます。

このほか、生涯設計デザイナー自身の学習や活動をサポートする機能も進化させており、コンサルティングやサービスの充実を通じて、「一生涯のパートナー」としてさらにお役に立てるよう努めてまいります。



タブレット型モバイルパソコン「DL Pad」

ご来社窓口のサービス向上

当社のご来社窓口(全国80店舗)では、サービス向上を目的として、コンサルティング機能強化や営業時間の拡大に取り組んでいます。

2007年にスタートした、平日夕方以降や土日も利用できる保険相談窓口「生涯設計パーク」は、「会社帰りなど自分の都合の良い時間に利用できる」とご好評いただき、2011年度は全8店舗で約3万5千名のお客さまにご利用いただきました。2012年度も4月以降順次、新宿・池袋・新船橋・名古屋の各駅から5分以内という便利な場所に新規オープンし、全国で12店舗となりました。

また全国68店舗の支社ご相談窓口のうち、お客さまからのご要望も踏まえ、2011年度より一部の窓口で平日夕方の営業時間を延長するとともに土曜日の予約制保険相談[※]も開始しました。「夫婦で相談に来ることができるのでありがたい」との声を多くいただき、2012年5月からは対象窓口をそれまでの10店舗から19店舗に拡大しました。

今後も、お客さまに便利な場所で、ご都合の良い時間にゆっくりとご相談いただけるよう窓口のサービス向上に努めてまいります。

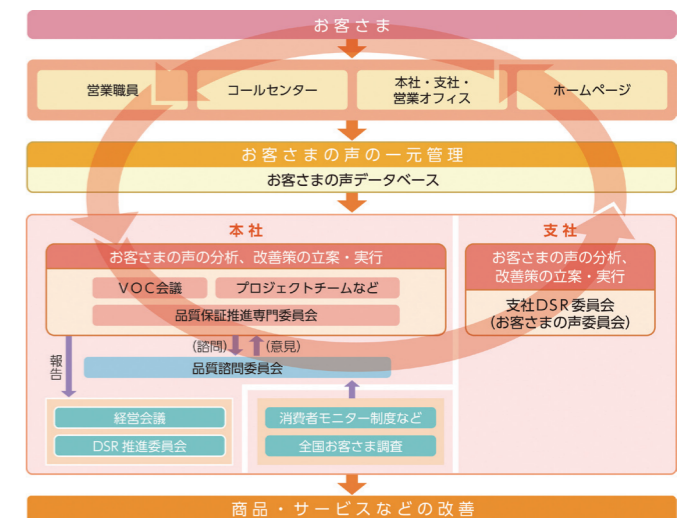


※毎週または第2・4土曜日 生涯設計パーク 池袋ショップ

ご契約期間中の取り組み

お客さまの声を活かす仕組み

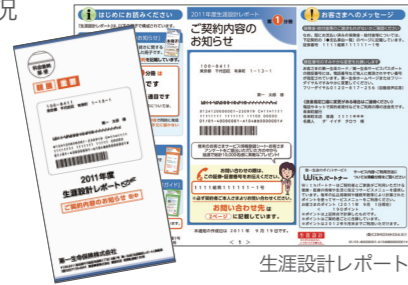
日々全国からいただく「お客さまの声」を経営に反映させるための仕組みを1992年に構築し、順次レベルアップを図りながら運営しています。これは、お客さまとの接点を通じて寄せられる「お客さまの声」を集約・分析し、経営や業務改善に反映させる仕組みです。具体的には、毎月の「VOC会議」で分析し、課題を整理後、プロジェクトチーム等にて、具体的な改善策を立案・実行し、その取り組みを経営会議等に報告しています。また、改善策等の検討に際しては、「消費者モニター制度」等を通じ、消費者の立場からのご意見・アドバイスをいただくことで、よりお客さまのご要望に応えるよう改善を図っています。



お客さまの声を活かす仕組み

「生涯設計レポート」による情報提供

ご加入いただいている保険の内容や当社業績等を年に1回、「生涯設計レポート」としてご契約者にお知らせしています。このレポートでは、保険金等を漏れなくご請求いただくため、主契約・特約ごとの支払事由を一覧にして掲載するとともに、過去10年分の保険金・給付金等の支払履歴を掲載することで、ご請求状況に関して詳しくご確認いただけるようにしています。また、2011年度版から巻末に「安心の定期点検シート」を設け、保険の内容や手続き方法についてご確認いただくとともに、「お客さまサービス情報登録シート」にてご家族情報を登録いただくことで、ご家族状況に合った情報提供やサービス提案をさせていただきますよう努めています。



生涯設計レポート

コールセンターによるお客さまサービスの充実

お客さまからのお手続き・ご照会に関する受付業務を行う「第一生命コールセンター」では、お客さまからの電話を迅速かつ適切に専門のコミュニケーターへおつなぎする

ため最新のコールセンターシステムを導入し、スピーディーにお手続きいただけるよう努めています。

2011年度にコールセンターにお問い合わせいただいた件数は129万件となっており、受付たお客さまからのご意見・ご要望を社内でも共有化し、お客さまサービスの向上や業務プロセスの改善に反映しています。

「コミュニケーションデスク」では、お客さまへの情報提供を充実させるために、ご連絡がしやすい土曜日も含めて直接お客さまにお電話しています。ご契約内容の確認や商品・サービス・キャンペーンに関する最新情報の提供等、2011年度は約105万件発信しました。今後も、お客さまサービスの一層の充実に努めていきます。

生命保険に込められた想いを伝えるメッセージカード

このカードは、生命保険に込められたお客さまの想いを受取人やご家族など、大切な人に先々にわたってお伝えいただくことができるようご提供しています。

万一のとき、満期のとき、それぞれのお受取りのときに、お客さまの想いを、大切な方にお伝えし、ご家族の絆をつないでいくカードとして、お客さまにご活用いただいています。



KIZUNA (絆) メッセージカード

お客さまとのコミュニケーションを充実させ、迅速なサービスを提供できるよう努めています

第一生命という会社に勤めていることで生命保険だけでなく、医療・介護などさまざまな情報を得ることができますので、情報をお客さまへお届けすることが、私の大切な仕事の一つだと思っています。毎日の活動では、お客さまにアポイントを取って確実にお話ができる環境をつくったり、遠方の方へはeメール等を活用するなど、限られた時間の中で情報をお届けできるよう心掛けています。

また、お客さまに何かあった場合でも迅速にサービスを提供することができるよう、お会いした際には「お客さまサービス情報登録シート」等のツールを活用して、その方の最新の情報を把握しています。

この迅速さは、私が最も意識している点です。万一のことがあった場合、一番不安なのはお客さまですので、少しでも早く不安を和らげるために、電話やeメールだけでなく、直接その方のもとへ駆けつけ、迅速なお手続きをするよう努めています。

こうした活動を続ける中でお客さまから信頼していただき、おかげさまで現在、600名近くのお客さまを担当させていただいています。これからもさまざまな情報やサービスを提供し、一人でも多くの方のお役に立ちたいと思っています。

首都圏営業本部 コンサルティング営業室
Sキャリア・オフィス 勝倉 朋代



保険金・給付金のお支払い

当社では、保険金・給付金を迅速・正確にお客さまへお支払いできるように取り組むとともに、お支払いできる可能性のある保険金・給付金について、漏れなくご案内できるよう態勢の整備を図っています。

「お客さまに保険金・給付金をお受取りいただくときこそ、保険の使命が果たされるとき」という認識を全役職員が共有し、お客さまの視点に立って、さらなる改善策の実施とその実効性向上に努めてきました。

今後もお客さまアンケートの結果や有識者からのご意見等を踏まえ、継続的な見直しを図ってまいります。

正確・丁寧に保険金・給付金をご案内するための取り組み

第一生命コールセンターに寄せられた「保険金・給付金のご請求に関するお問い合わせ」については、より正確で丁寧にご案内ができるよう、専門の担当者が直接対応させていただき体制を整えました。また、ご請求いただいたもの以外にもお支払いできる保険金等がないか、「ご請求受付時」「支払査定時」「お支払い後」の各段階でお客さまへのご請求案内を行うさまざまな取り組みを行っています。

お支払いできない場合のご説明の充実

保険金・給付金のお支払内容等に関するご照会は、専

用フリーダイヤルにて分かりやすく丁寧にご説明させていただいています。

また、保険金・給付金のお支払いができない場合に、ご不明な点等がございましたら「支払照会窓口」にご相談いただくことができます。支払部門の専門の担当者より直接ご説明します。

なお、「支払照会窓口」のご説明ではご納得いただけない場合には、「異議申出窓口」（支払部門とは別の社内の部門）や、「社外弁護士相談制度」あるいは「支払審査会」（第三者機関）をご利用いただけます。

保険金・給付金のお支払い状況（2011年度）

	合計	死亡・高度障害・特定疾病等 保険金	入院・手術等 給付金
お支払い件数	989,918件	81,051件	908,867件
お支払いできなかった件数	36,056件	3,189件	32,867件
支払事由非該当	34,608件	2,632件	31,976件
告知義務違反による解除	849件	187件	662件
免責事由該当	597件	370件	227件
その他	2件	0件	2件

※満期保険金や生存給付金等は含みません。

お客さまの気持ちを考えて 保険金・給付金のお支払手続きを行っています

私の担当では、三大疾病、介護や高度障害等の保険金・給付金の支払いに関して、お客さまからいただいた請求書類をもとに手続きを行っています。

当社がお支払いする保険金・給付金はお客さまにとって生活を支える非常に重要なものであり、生命保険の意義そのものといえます。この支払いが遅くなったり、万一間違いが発生した場合にはお客さまに多大なご迷惑をお掛けしてしまいます。迅速・正確に業務を遂行していくことを常に心掛け、お客さまへ

いち早く安心をお届けできるよう、日々努力しています。

また一方で、支払事由非該当などによって残念ながらお支払いできないケースもあります。そのような場合には、お客さまにご納得いただけるようご説明内容の充実を図り、丁寧な対応を行っています。

今後も引き続き、お客さまのお役に立てるよう意識して、迅速・正確に業務に取り組みたいと思います。

保険金部 植田 啓介

健康経営

お客さまに健康と安心をお届けするために

当社は2011年7月、第一生命グループ健康宣言「いきいきダイイチ110!」と銘打ち、お客さまと職員の健康増進を重要な経営課題として位置付けました。

お客さまに健康を語るためには、何よりもまず職員自身が健康を意識し、医療にも高い関心を持つことが必要です。職員一人ひとりの日々の活動がお客さまの健康増進の架け橋となるよう、各種取り組みを実施、検証するという健康増進のPDCAサイクルを構築し、運営しています。

さらに外部機関によるチェックも受け、他社の好事例も参考に取り組みのさらなる改善・強化を図っています。

2012年2月、経済産業省が推進する「医療・介護等関連分野における規制改革・産業創出調査研究事業」に参画し、「健康増進取組」の外部機関評価を受け、総合得点率91%で参加15社中第2位となりました。

今後もお客さまの「健康・医療・介護・暮らし」のお役に立てるよう、「一生涯のパートナー」として引き続き「健康経営」を推進していきます。



お客さま向け健康・医療・介護サービスの提供

当社のご契約者・被保険者とそのご家族向けに健康・医療・介護サービスを提供するとともに、日々の職員の営業活動を通じ、がんをはじめとするさまざまな病気に関する正しい知識や予防法、検診受診啓発など、お客さまのお役に立つ情報をお届けしています。

ご契約者向け健康・医療・介護サービスの提供

2012年4月より、個人保険のご契約者・被保険者とそのご家族を対象として、お客さまご自身で、健康・医療・介護に関する情報を電話やインターネットで24時間いつでも無料でご確認いただける新しいサービス「メディカルサポートサービス」を開始しました。



〈メディカルサポートサービス内容〉

【電話相談】

- 「健康・育児・介護電話相談」 健康、育児、介護に関する電話相談。休日・夜間診療している医療機関情報などもご案内。
- 「ウィメンズヘルスダイヤル」 女性の身体の不安や悩みに性差医療に詳しい女性医師が応える女性のための健康電話相談。

【インターネット(Web)情報検索】

- 「医療情報検索“ヨミドクター”」 気になる病気ごとの情報や病院別治療実績情報などを検索できる健康サイト。
 - 「ご近所病院検索」 指定した地点に近い医療機関の一覧や地図、診療時間等を検索できるサイト。
- (このほかにも健康関連情報サイトをご提供しています)

※上記サービスは第一生命が提携する各企業のサービスを提供するものです。
(2012年4月時点の提供企業：(株)保健同人社・(株)読売新聞東京本社・(株)スズケン)

※上記は2012年7月時点のサービスの概要を説明したものです。
(登)C24H0524(H24.7.27)③

がん啓発に関する取り組み

- 独立行政法人国立がん研究センターとの包括的連携協定
生涯設計デザイナーのフェイス・トゥ・フェイスの訪問活動を通じて、お客さまへのがんに関する正しい情報の提供や、予防・検診受診啓発に積極的に取り組んでいます。

2012年1月、がんに関する日本の最高権威機関である独立行政法人国立がん研究センターとがんの情報提供に関する包括的連携協定を締結しました。

本協定に基づき、今後同センターとともにがんに関する知識、予防・検診・相談・治療等に関する専門性の高い情報を、チラシ・セミナー・「DL Pad」・Webサイト等を通じて、幅広く、分かりやすくお客さまへご提供していきます。



独立行政法人国立がん研究センター(築地キャンパス)

●がん検診企業アクション

2012年4月時点で14都道府県4政令指定都市とのがん啓発に関する協定を結んだほか、厚生労働省を本部とする「がん検診企業アクション」推進にパートナー企業として参加しています。地域に根ざした医療情報をお届けするとともに、広く国民に向けたがんに関する情報提供を実施しています。

※企業・団体と共にごがん検診受診率50%超を目指すプロジェクト。



●乳がん触診モデルの設置

がん検診受診率向上に向けた取り組みとして、「乳がん触診モデル(模型)」を生涯設計パーク全店に設置しました。触診体験をお勧めすることで、乳がんのみならずお客さまのがん全般に対する理解を深めていただいています。また、各地域でがん検診の受診可能な医療施設をご案内するなど、がんの早期発見・早期治療に向けた情報提供を行います。



乳がんの触診モデル

お客さま向け医療啓発セミナーの開催

全国のお客さまに直接、最新の健康・医療情報をお届けするため、各種のセミナーを開催しています。

専門の医師や第一生命経済研究所の保健師による医療や介護についての「ウェルライフセミナー」を開催しています。2011年度は全国で134回開催し、約2万人のお客さまにご参加いただきました。

また、子宮頸がんや乳がんといった病気について、がん体験者である著名人と婦人科の医師による「女性の病気とがんセミナー」も全国で開催しています。セミナーに参加いただいたお客さまからも「分かりやすく、とてもためになった」との満足の評価をいただいています。



ウェルライフセミナー



著名人・婦人科医師によるセミナー

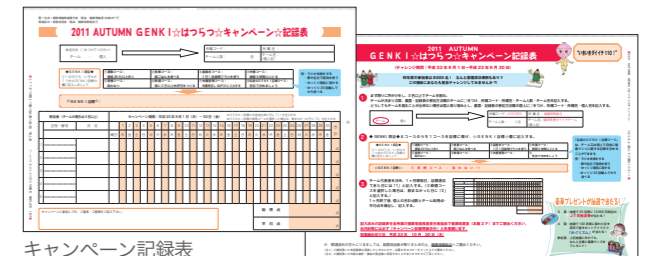
職員自身の健康増進と正しい健康・医療知識の習得

職員の健康増進に向けた「GENKI☆はつらつ☆キャンペーン」

健康・医療・介護・暮らしをサポートする生命保険会社として、職員自身が健康でいきいき仕事ができるよう、2010年度より「健康増進全社活動」を展開し、その一貫として「GENKI☆はつらつ☆キャンペーン」を実施しています。期間中職員3人以上でチームを組んでエントリーし、「朝食を毎日とる」「毎日6時間以上睡眠をとる」など健康対策8項目の中から1項目を選び、約6,000人の職員が取り組みました。



所属員全員でキャンペーンに参加した団体保障事業部



キャンペーン記録表

健康対策8項目

① 連続20分以上歩く	② 朝ごはんを食べる
③ 1日1回歯間ブラシを使う	④ 睡眠を6時間以上とる
⑤ たばこは吸わない	⑥ 週に2日以上休肝日をつくる
⑦ 体重を測定し管理ソフトに入力する	⑧ 自分たちの立てた目標に取り組む

職員向け医療知識研修の実施

職員の健康増進意識の浸透を図るため、職員自身の医療知識の向上を目指しています。その一環として第一生命経済研究所による健康・医療・介護に関する医療知識研修を全国の拠点で実施しています。



職員向け医療知識研修

環境保護活動

環境経営の推進

当社は、社会・経済の発展と地球環境とが調和した「持続可能な社会作り」の実現に寄与するため、環境保全を目的とした「環境基本方針」を制定しています。

現在、「2011-2012年度環境中期取組計画[※]」を推進しており、定量目標は2011年度まで計画通りに進捗しています。計画の最終年度となる2012年度を迎え、各項目の達成に向け、引き続き全役職員による省エネ・省資源取組「Ecoダイエット運動」を推進し、電力消費量・OA用紙削減等に取り組んでいきます。

※当社のあらゆる事業活動における環境負荷軽減を目的として、CO₂削減や紙使用量削減等の省エネ・省資源取組、生物多様性保全対応や環境経営推進体制の強化に関する目標を設定。

環境中期取組計画 取組状況一覧

		2009年度	2010年度	2011年度	2012年度目標	主な施策・増減理由	
省エネルギー	事業所エネルギー削減	CO ₂ 排出量 ^{※1} (t-CO ₂)	168,000	170,000	153,000	163,000	・従来の省エネ活動に加え、夏・冬の節電取組による削減
	物流エネルギー削減	物流エネルギー(t・km)	2,838,000	2,791,000	2,185,000	2,554,000	・社内便バッグの小型化による物流量の削減
省資源	紙使用量削減	紙総使用量(t)	12,775	9,954	9,922	10,220	・印刷物の適正量発注による不良在庫の抑制
		OA用紙使用量(t)	2,430	2,370	2,510	2,065	
		メールボックスファイル帳票出力数 ^{※2} (万枚)	5,300	4,855	3,860	4,240	
紙リサイクル再生紙利用の促進	紙資源リサイクル率(%)	100	100	100	100	・リサイクル徹底による現状維持	
	主要事業所一般ごみリサイクル率(%)	100	100	100	100		
グリーン購入推進	グリーン購入率(%)	88	87	95	80	・適合商品の拡充	
参考	水道使用量	水道使用量 ^{※3} (m ³)	166,673	157,313	150,096	-	-

※1 エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)第7条第3項の規定に基づき算出し、当社投資用物件・営業用物件・厚生用物件の総エネルギー量を記載。各年度の排出量は2009年度係数を適用して再計算しました。

※2 OA用紙換算枚数にて算出。

※3 2010年度までは日比谷本社・府中事業所・大井事業所の3拠点、2011年度は新大井事業所を含めた4拠点を対象。

		2011年度の取り組み	
環境保護	環境配慮活動	資産運用における環境配慮行動の推進	・「21世紀金融行動原則」に署名し、行動規範ガイドラインを改正 ・「CASBEE」Sランク取得(新大井事業所)
	生物多様性保全	環境保全活動への助成・支援の推進	・職員環境ボランティア取組 エコキャップ運動 回収累計約4,000万個 参加職員数約3万人 ・「緑の環境デザイン賞」を通じた緑化プランへの助成
環境経営	環境経営推進体制の確立	環境取組PDCAサイクルの定着 役職員の環境取組意識の向上 環境関連情報開示の推進	・省エネルギーチェックサイクル見直しによる進捗管理の強化 ・職員環境認識度肯定割合87.3%(前年度比+9.4%)

Topics

21世紀金融行動原則への署名

2011年11月、わが国で最初の金融機関を横断する形での行動原則「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則」に署名しました。本原則は、持続可能な社会形成のために必要な責任と役割を果たしたいと考える金融機関のCSR全般に関する行動指針となっており、当社は、本原則の策定にあたって、起草委員会に委員として参画しました。今後は、当社をはじめとした本原則運営委員主導のもと、署名金融機関により環境金融への取組状況に関する情報・意見交換等が行われる予定です。当社では、多くのステークホルダーの皆さまにご支援いただけるよう、健全な事業活動を通じて、今後もより一層「持続可能な社会づくり」に貢献していきます。

社会貢献活動

当社は、「社会貢献活動の取組方針」に基づき「良き企業市民」として地域社会とともに持続的に発展することを目指しています。「健康の増進」「豊かな次世代社会の創造」「環境の保全」を中心として社会貢献活動に取り組んでいます。

健康の増進

保健文化賞

保健衛生の向上に取り組む人々に感謝と敬意を捧げる賞として1950年に創設し、厚生労働省等の後援のもと毎年実施しています。海外での医療活動、生活習慣病対策等、時代の変化に伴い幅広い課題に対する取り組みを顕彰しており、これまでに団体・個人合わせて931件の方々が受賞しました。毎年秋に贈呈式を行い、受賞者は天皇・皇后両陛下に拝謁を賜っています。



第63回 保健文化賞贈呈式

財団法人 心臓血管研究所

各種循環器疾患の医学的研究を行い、予防・診断・治療に資することを目的として、研究成果の発表や、併設する付属病院での高度で先進的な専門医療の提供を行っています。また、最新医療設備の導入等でさらなる医療の質・サービスを向上させるとともに、今後も循環器疾患の臨床医学発展に貢献することを目指しています。

豊かな次世代社会の創造

「ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～」による消費者教育支援

当社は、2004年に製作した「ライフサイクルゲーム」の内容を全面的に見直し、新たに「ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～」を製作しました。このゲームは、すぐろく形式のゲームを楽しみながら人生のさまざまなリス

クと必要な備え、消費者契約等に関する知識を学べる消費者教育教材です。2012年3月に公益財団法人消費者教育支援センター主催の「第8回消費者教育教材資料表彰」において、「優秀賞」を受賞しました。当社では、本教材を使用して学校等での出張授業を実施するほか、学校・消費生活センター・各種の消費者向けイベント等に提供しています。



ライフサイクルゲームⅡ～生涯設計のススメ～

公益財団法人 国際保険振興会(略称FALIA)

生命保険事業の発展に寄与することを目的に、国内外で保険事業関係者を招いた研修・セミナーを開催しており、その参加者は2012年3月末時点で累計8,000名以上となっています。なお、当財団は2012年度で事業開始から50周年を迎えるとともに、4月1日付で財団法人から公益財団法人に移行しました。



FALIAによる国内研修風景

環境の保全

緑の環境デザイン賞

緑豊かな都市環境の形成、その中で育まれる人と自然との触れ合い、コミュニティの醸成等に役立つことを願い、1990年に「緑のデザイン賞」として創設しました。全国から公募した緑化プランの中から優れた作品を表彰し、プラン実現の資金助成を行う顕彰制度です。2009年に「緑の環境デザイン賞」と改称し、新たに都市の環境共生に必要な緑地機能を積極的に取り入れたプランを評価する基準を加え、環境対応強化を図っています。これまでに全国の134の地域で新たな緑地が誕生しています。



国土交通大臣賞受賞「東京農業大学農学部」